

既存の弹性下地にピタッ！と食いつく

NT水性塗り替え用 プライマーU



NT水性塗り替え用プライマーUは、2液水性ウレタン樹脂系で臭気が少なく環境にやさしい塗り替えプライマーとして最適な塗料です。

用途01

ウレタンゴム系
塗膜防水材の改修

用途02

防水用塩ビシートの改修

用途03

弾性ウレタン樹脂系
塗り床材の改修

使用時に
身体への影響が少ない！

環境対応UP

塗料のきつい臭いと
さようなら！

臭気低減

施工時に近隣の方に
迷惑がかかるない！！

**水性だから、
施工がスムーズ！**
集合住宅や学校の改修に最適



既存の弾性下地にピタッ！と食いつく NT水



特長
01

幅広い既存塗膜への付着と上塗り適正

ウレタンゴム系塗膜防水材や弾性ウレタン塗り床材、防水用塩ビシートなどの既存下地に対して強固に付着します。また、溶剤、水性など多くの種類の上塗りに適正があります。

特長
02

柔軟性に優れる

ウレタンゴム系塗膜防水材や弾性ウレタン樹脂系塗り床材のトップコートの動きに追従するよう、伸縮性がある塗膜を形成します。

	NT水性塗り替え用 プライマーU	一般溶剤ウレタン プライマー
伸び率	100%	20%

荷姿

11kgセット

A液 … 10kg B液 … 1kg

色相

A液（乳白色）、B液（クリヤー）

※乾燥すると塗膜はクリアになります

用途

- ウレタンゴム系防水塗膜防水材の改修
- 防水用塩ビシート改修（トップコート塗装のみ）
- 弾性ウレタン樹脂系塗り床材の改修

ご使用上の注意事項

- ① NT水性塗り替え用プライマーUのA液は有効成分が沈降することがあるため、使用前に均一に攪拌してください。
また、小分けして使用する際にも予め塗料缶の内容物を均一になるように攪拌してから小分けを行ない、秤を用いて計量して調合を行なってください。
- ② A液とB液の混合は、混合比率を守り、必ず電動攪拌機を使用して充分に混合してください。
A液とB液の混合比率が変わると性能が発揮できません。手攪拌では充分に混合できません。

可使時間

気温	5~15°C	15~25°C	25~35°C
可使時間	4 時間	3 時間	2 時間

● A液・B液混合後の可使時間の管理は、必ず時間で行なってください。
可使時間を過ぎても粘度などの性状は変化せず、目安になりませんのでご注意ください。
また、夏場、直射日光が当たると材料温度が上昇し可使時間が短くなります。
日光が当たらない涼しい場所で保管してください。
A液B液混合後は、早めにご使用ください。

● 可使時間を過ぎると付着性が著しく低下します。
可使時間が過ぎた塗料は絶対に使用しないでください。

上塗り塗装可能時間

気温	5~15°C	15~25°C	25~35°C
上塗り可能時間 (施工間隔)	5 時間以上 24 時間以内	4 時間以上 24 時間以内	3 時間以上 24 時間以内

- 上塗り塗装可能時間の前に塗装すると、ちぢれなどの外観不良につながります。
指触乾燥していても、上塗り塗装可能時間を厳守してください。
- 施工途中で降雨などの水分を受け、塗料が流れた場合はきれいに拭き取り、塗膜を除去して塗装し直してください。
- 塗膜養生中で降雨などの水分を受けた場合は、付着を確認後、再度塗装してください。
- 上塗り塗装可能時間を過ぎた場合は、再度、NT水性塗り替え用プライマーUを塗装してください。

性塗り替え用プライマーU

特長
03

環境対応・低臭

水性で臭気が少なく、厚生労働省による
室内濃度指針値対象物質(13VOC)を含みません。
塗装する建物の住民の方にも塗装周辺の住民の方にも
臭気による影響が少なく安心してどうぞ。

* NT水性塗り替え用プライマーUについてであり、
使用する上塗りにより臭気が強くなる場合もあります。

	NT 水性塗り替え用 プライマーU	溶剤トップコート (エコタイプ)	溶剤プライマー
最大臭気	466	1700 以上	1700 以上

数値が大きい程、臭気が強いことを示します。臭気400台以下はほぼ無臭です。
(臭気の感じ方は個人差があります。)

自社の
臭気試験方法

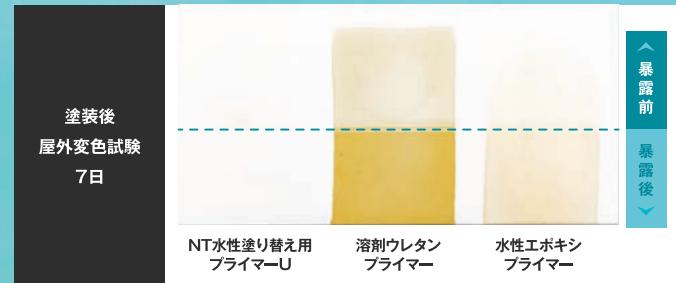
臭気センサーで臭気を測定。



特長
04

黄変がほとんどない

耐候性に優れるため、上塗りから透過した紫外線による
プライマーの劣化・剥離リスクが低減できます。
また、塗装時に万が一上塗り部分からはみ出ても変色が少なく
美しい仕上がりを維持します。



仕様書

工 程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23°C)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23°C)
素地調整	既存ウレタンゴム系塗膜防水材トップコート、防水用塩ビシート、弾性ウレタン樹脂系塗り床材の表層のチョーキング粉は高圧水洗浄 + モップ洗いやシンナー拭きなどにより完全に除去してください。 砂や塵埃 および 油脂などは除去し、付着していないことを確認してください。 既存塗膜やシートが下地に付着していることを確認し、フクレや剥離、亀裂、欠損、口あきがある場合は塗装前に適切な処置を施してください。 下地が乾燥していることを確認して次の工程に入ってください。				
下塗り	NT水性塗り替え用プライマーU (A液 10kg、B液 1kg)	刷毛 ローラー	3 時間	0.1	4 時間以上 24 時間以内

適応既存塗膜・適応下地と適応上塗り製品

適応既存塗膜・
適応下地

- ウレタンゴム系塗膜防水材
 - 防水用塩ビシート（トップコート塗装のみ）
 - 弾性ウレタン樹脂系塗り床材
- * ウレタンゴム系塗膜防水材や弾性ウレタン樹脂系塗り床材はトップコートが施工されている面に対しての施工となります。
* トップコートが劣化してウレタンゴム系塗膜防水材が露出している場合は仕様が異なります。別途お問い合わせください。
* コンクリートやモルタル、磁器タイルなどの無機系基材や金属への付着性は弱いため、それらへのプライマーとしては使用しないでください。

適応
上塗り材

防水材・塗り床材
トップコート

ブルーフロンシリーズ各種防水材 / NTスプレー各種 / ユータックFエコ

ブルーフロンGRトップ / ブルーフロンGRトップ遮熱 / ブルーフロンGRトップエコ /
ブルーフロンEGトップシリコンマイルド / ブルーフロンエコ水性GRトップ / ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱 /
ブルーフロンEGトップ4F / ブルーフロンEGトップ4F遮熱 / ユータックFT / 水性ユータックFT

❗ 注意事項（必ずお読みください）

施工上の注意事項

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- NT水性塗り替え用プライマーUは、多くのウレタンゴム系塗膜防水トップコートや防水用塗ビシートなどに付着しますが、全てではありません。事前にプライマー付着試験を行なってください。
- 新しい防水用塗ビシートは表面のコーティングの影響で付着が弱くなる場合があります。
- 屋外のウレタンゴム系塗膜防水材や防水用塗ビシートについては、経年劣化が激しいとヨーキング層が表面に多く堆積しています。また表面に塵や埃が多く堆積している場合もあります。ヨーキング層や塵、埃を除去せずに塗装すると付着不良につながるため、高圧水洗浄+モップ洗いなどの下地処理を行ない、完全に除去してください。
- 屋内の塗り床材はメンテナンスでワックスなどが使用されていることがあります。ワックス確認と除去が必要です。既存塗膜にワックスや油分が残っている場合は、専用のクリーナーなどを用いて完全に除去したち、ボリッシャーなどで必ず研磨してください。
- 既存塗膜の付着力が不足している場合、上塗り塗膜の硬化収縮により剥離する可能性があります。
- 気温が5℃以下や湿度80%以上の塗装は避けてください。
- 塗装後、降雨や降雪、霜、夜露などが予測される場合は、施工を避けてください。
- 冬期に塗装終了後、塗膜乾燥工程で5℃以下になった場合、塗膜の造膜不良となり、ひび割れ、白化、付着不良などの現象が発生し、塗膜耐久性に影響します。このため、塗膜養生を考慮して早めに作業を終了してください。
- 水系塗料ですが若干の溶剤を含みます。塗装時は必ず換気を行ってください。換気口や空気取り入れ口近くで塗装する場合は、溶剤蒸気が室内に入らないように養生や塗装に注意してください。
- 塗装時に塗料の溜まりを作らないようにしてください。防水用塗ビシートなど継ぎ目に溜まりを作らないでください。塗膜のひび割れが発生する恐れがあります。
- 冬期、NT水性塗り替え用プライマーUのB液は粘度が高くなります。塗装調合時は、ヘラなどでかき出し、混合比率を間違わないようにしてください。
- 地下室や換気の悪い環境では、湿度が高くなります。極端に乾燥性が遅くなり、付着不良や硬化不良の原因となるため、送風機などを用いて環境の改善を行ってください。

取り扱いの注意事項

- 火気のある所では、絶対に使用しないでください。また、着火源から遠ざけてください。
- 火花を発生しない工具を使用してください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気、ガスを吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて適切な保護手袋、有機ガス用防毒マスク、防じんマスク、保護眼鏡、保護面、保護衣などの防護具を着用してください。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 材料が手についた場合、多量の水と石鹼で洗ってください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガス、粉じんを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合は、多量の水で注意深く洗ってください。また、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。そして、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 取り扱い中、容器からこぼれないように注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布した後、適切な処理をしてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げる場合には、適切なつり具で垂直に持ち上げ落しに充分注意してください。
- 保管は必ずフタをし、直接日光の当たらない、換気の良い場所で保管してください。
- B液は危険物です。消防法などの適用法令に従って保管してください。
- B液は、水分により反応します。保管時は密栓して、水分の影響を受けない冷暗所にて保管してください。
- A液、B液混合後、密閉して保管することは行なわないでください。
- 保管はフタをし、凍結を避け、直射日光が当たらない場所に保管してください。
- 保管は5℃～40℃の屋内で貯蔵してください。
- 施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、洗浄液・廃液・汚泥などは関係法令に基づき、自社で適切に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は、環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用していただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 塗装具や塗料容器を廃棄するときは、産業廃棄物として処理してください。
- 詳細は、安全データシート (SDS) をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

<https://www.nttoryo.co.jp/>

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2

神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10

中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12

大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12

中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13

九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726

☎ (03)3913-8203 FAX (03)3913-6323

☎ (0463)23-21350 FAX (0463)23-3739

☎ (0566)81-81110 FAX (0566)81-8124

☎ (06)6386-84920 FAX (06)6338-3560

☎ (082)423-82310 FAX (082)423-8256

☎ (0942)89-57660 FAX (0942)89-5762

■代理店